



広報 なかわだ

第 381号

8月の予定

聖母の被昇天 祭日ミサ 8月15日(月)
 教会委員会
 信徒の会
 子どもと共に捧げるミサ } (夏休み)



2011年 8月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

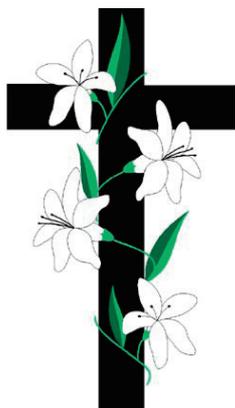
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成23年8月7日

L'Assomption de la Vierge (Charles Le Brun 1619-1690)

聖ノエル・シャバネル (記念日：9月24日)

主任司祭 小林 陽一



「十字架の言葉は、滅びる者にとっては愚かであるが、救われる道、救いの道を歩む私たちには神の力である。」(Iコリント1章18節)

キリストの十字架上の死は、当時の一般の人々の目にはまったく失敗に見えたが、実際には、それが人類の救いの源となった。聖ノエル・シャバネルの一生も、まったく失敗に見えたので、今では「失敗の保護者」として仰がれている。

1613年、中部フランスのメンデに生まれた聖ノエルは、敬虔な両親に育てられ、幼い頃から信仰に篤かった。1630年、17歳のとき、ツールズのイエズス会修練院に入った。そこで2年間イエズス会の会憲や諸徳を学び、謙遜と自己放棄の徳を身につけ、それらは彼の心に深く根を下ろしていった。哲学をツールズで学んだ後、大学で文法や修辞学を教え、1641年、28歳で司祭に叙階された。

1642年、兼ねてからの念願がかなって、聖ノエルはカナダに宣教、伝道することになった。3ヶ月の船旅のあと、大西洋を越えてカナダに着いた。当時、カナダでは、ヒューロン、アルゴンキン、イロクワなどの遊牧民が勢力争いをしていた。そこへフランス人が入ってきて、ヒューロン人と羊毛、毛皮などの貿易を始めた。こうした中で、聖ノエルを含めたフランス人宣教師たちは、まずヒューロン人の中に入って行って宣教を始めた。それを見たヒューロン以外の他の部族が、フランス人宣教師たちを脅すようになり、宣教は容易なことではなかった。聖ノエルは、当時ヒューロン人宣教に長く携わっていたプレオフ師に出会い、ヒューロン人の生活習慣を学び、その体験から多くを学んだ。ヒューロン語の習得に困った聖ノエルは、説教や要理の教授に困難を感じる日々を送った。長い冬の間は、木の皮で葺いた小屋の中で暮らし、中に吹き込んでくる風雪に体が凍える苦しさに耐えた。常食はとうもろこし。未開の地でなぜ無駄に月日を過ごさねばならないのか。言葉も分からないのに……。こうした思いをさえぎって、聖ノエルは、死ぬまでこのヒューロン人のために働くのだという決意を固めた。5年の間ヒューロン人の中で宣教を続けている時、幾人かの宣教師が次々に殺され、ソーサンマリーで宣教中の聖ノエル神父は修道会の長上から避難命令を受けた。

1649年12月初旬、深い森の中に避難している最中、聖ノエルは一人のヒューロン人に殺害されてしまった。聖ノエルの捧げた犠牲は、のちのカナダに豊かな救霊の恵みをもたらすことになった。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
5	金		初金ミサ(10時)	掃除
6	土	主の変容 祝日	主日ミサ(18時)	
7	日	年間第19主日	主日ミサ(9時)	
13	土		主日ミサ(18時)	掃除
14	日	年間第20主日	主日ミサ(9時)	
15	月	聖母の被昇天 祭日	祭日ミサ(10時)	
20	土		主日ミサ(9時)	掃除
21	日	年間第21主日	主日ミサ(9時)	
27	土			掃除
28	日	年間第22主日	主日ミサ(9時)	全体掃除(AB地区)

高校生以上、社会人の為の堅信式申し込みについて

主任司祭 小林 陽一

2011年の堅信式日程の変更があり、最終的に12月4日に実施されることになりました。ここに至るまで、皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

中和田教会の前の堅信式は、2009年6月に実施されましたが、受堅者は16人（その内、社会人4人、中高生12人）でした。16人の方は、以前に洗礼を受け、堅信式の日に聖体の秘跡と堅信の秘跡をうけて、入信の秘跡のすべてを受け終わりました。

今回の受堅の為の勉強会は、1回90分で、全部で5回です。勉強会では「神の導きと救いの歴史」「世界の半分の人には飢えている」「ミサの意味とその大切さ」「聖書の基本」「秘跡の意味、堅信の意味」「私のイエス様」を扱う予定です。

高校生以上の学生の方、社会人の方、主婦の方でまだ堅信を受けておられない方は、8月28日（日）までに「堅信申込書」を小林神父に提出してください。

「堅信申し込みの為の説明書」「堅信申込書（用紙）」は、聖堂ドアの内側の机の上にありますのでお取りください。勉強会は都合のよい時間を申し込んで、約束してください。勉強会の指導は小林神父です。グループで勉強したい人は、お互いに時間を約束して、申し込んでください。

中和田教会の堅信式が 12月4日（日）となった経過について

主任司祭 小林 陽一

2011年の中和田教会の堅信式は、当初、6月19日（日）と通知されておりました（2011年1月1日現在）。ところがその後、高松教区の司教叙階式が6月19日（日）に決定し、梅村司教様はこれに出席されることになり、中和田教会の堅信式は9月18日（日）に延期されました。その後、横浜司教館の古川神父様は、長野県・富士見教会の「献堂式」を9月18日（日）に致したいと中和田教会に連絡して来られ、「2011年8月14日（日）か15日（月）、あるいは12月4日（日）に中和田教会の堅信式実施の可能性があるがどうですか」と小林神父に伝えられました。小林神父は、8月14日と15日は夏休み帰省の方が多くあると考え、結局「中和田教会の堅信式は12月4日を希望します」と申請致しました。その後、古川神父様から「中和田教会の堅信式は2011年12月4日（日）に致します」と小林神父に連絡があり、そのような決定となりました。

ここに至るまで、堅信式の申し込みをなさった中学生とご両親の皆様、教会委員の皆様、典礼部や宣教部の皆様、中和田教会の全ての信者の皆様へ、ご心痛とご心労の痛手を与えましたこと、まことに申し訳ありませんでした。心よりお詫びを申し上げます。

納涼ガーデンパーティ（7月30日）： ご参加とご奉仕、有難うございました！

奇跡的に雨が上がり、皆様のご協力とご奉仕のもとで、意義深い、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

駆けつけて下さったナザレトの大川様、ご来訪または差し入れをお寄せ頂いた近隣の皆様、近隣教会／修道会の皆様、そして、ご奉仕頂いた信徒の皆様、どうもありがとうございました



『信徒の会』例会だより

（7月17日 18名出席）

今月も多くの方々に出席頂き、いつものとおり和やかならちに行われました。

前半は、教会委員会の簡単な報告の後、「サロン」と「ガーデンパーティー」についてのお話し合いをしました。

●サロン：

今後、「信徒の会」が担当していくに当たり、お話し合いの結果として、以下のように奉仕者の負担を減らす方向で調整していくこととなりました。

- ・開催は月1回とする（第4週のみ）
（全体掃除を15～20分で終わらせてから、サロンで懇談する流れとする）
- ・セルフ・サービスを旨とする（お菓子は原則なし）

●ガーデンパーティ：

具体的な段取り、中身、分担などのお話し合いになりました。楽しい交わりのひとときとなりますよう、皆様の積極的な

ご参加とお手伝いをよろしくお願いいたします。

後半は、奉仕の心で地域活動に参加しておられる石井三雄さんから、直接携わっておられる横浜市のG30活動のこと、保健活動推進委員としての仕事の中から、特に高齢者の健康維持のための活動のことなどお話いただきました。

先の大震災以後、地域の関わり、絆の重要性が増してきている中で、依然として見られる無関心、非協力的な風潮を懸念する声も出ました。また、「教会になかなか来られなくても、教会に来る以上の事をしておられるのですね。何が何でも教会へという時代ではなくなっているのかもしれないね」という感想もありました。地域の中で、自らの信仰を大切にしながら、人々との絆の中で互いに助け、助けられながら生きていくことのすばらしさを感じとらせて頂いたひとときでした。

（小野 雅彦、 岩崎好愛）



バザー関連のお知らせ

1、フリーマーケット出店者の募集

今年のバザーでは、一部フリーマーケットのスペースを設けることになりました。

出店ご希望の方は、8月末までにお申し出ください。

- ・バザー開催日 10月30日(日)
- ・出店者 信徒またはその知人
- ・扱う品物 自由(スペースはお一人につき机ひとつ分)
* 売上金の内、50%以上をご寄付ください。
- ・搬入・搬出について 当日限りにしてください。
- ・申込受付 先着順といたします。
8月末日までに、担当の今井さん(C地区)まで。

2、手作り品の提出について

- ① 手作り品を一人2点以上出してください。
- ② ご希望の売値がある方は明記してください。
- ③ 原則として、売上は全額ご寄付となります。
- ④ 受付は9月に入ってからとなります。

なかわだの 声



6月初め、宮城県山元町の被災現場にやっとなって行ってきました。ここは長男が勤務していて津波に直面した、海岸からたった200mのところにある中浜小学校のある地です。波打つように凸凹した道路を、まるで船に乗っているかのように上下しながら目的地にやっとなって来ました。幸いに学校の屋上に避難した生徒さんや近くに住民の方々90名は全員無事にヘリコプターに救助

されたのですが、周辺は学校の建物以外全てが失われて、一面の平地に変わっていました。そして校庭は車の墓場。夕方のこともあり、辺り一帯は不気味なほど静まりかえり、動いているものは海の波以外一切目に入りませんでした。

廃墟と化した校舎の中を抜けて、やっとの思いで屋上(寄せ来る津波を目の当たりにしながらみんなが避難した場所)に長男と共に上がり、天と海に向かって念願だった心からの祈りを捧げることができました。(Y)

岩淵委員長の コラム



■ 7月30日(土)にガーデンパーティーを実施しました。お忙しい中多くの方々にお集まり頂き、楽しく和やかな会となりました。準備に当たられた方々、暑い火の前でバーベキューを焼いて下さった方々に厚くお礼申し上げます。武田さんにはいつもながらお世話になりました。また今回は大川さんが多量の新鮮なホタテを焼いて下さいました。戸塚教会の川口委員長さん達もお見えになり、原宿のシスターからは多量のおいしいデザートも差し入れもありました。子供達の踊りも楽しいものでした。心のもった料理の数々を頂きながら、みんなつながっている

ということを実感できる楽しい一時となりました。震災義援金も皆様から多額のご寄付を頂きました。

信徒の会が中心となった最初のビッグイベントが大成功だったのは意義のあることと思います。皆様に心からお礼申し上げます。

■ 二転三転しましたが、堅信式の日程が最終的に12月4日に決まりました。皆様に御心配をお掛けしたことをお詫びしますとともに、一人でも多くの方々が堅信の秘跡を受けられますよう、お願い申し上げます。

■ 今年の区民クリスマスは、12月23日に泉公会堂で開催することが決まりました。多くの方に少しでもイエズス様を身近に感じてもらう良い機会と思います。皆様の御協力をお願い致します。

■ 震災復興支援のTシャツが短期間に50枚も売れたとのこと。御協力有り難うございました。また震災義援金につきましては9月末日に締め、仙台教区にお送りすることとしておりますので、引き続き御協力をお願い致します。

「泉区民クリスマス」に関するお知らせ

今年の「2011・泉区民クリスマス」は12月23日(祝・金)に泉公会堂で開催されることが決まりました。区民のみならずと共にイエス様のご誕生を祝い、その意義を分かち合うこの機会に、ぜひみなさまもご参加下さるようお願いいたします。

(1) 聖歌隊へのお誘い

当日に向けて、9月11日(日)から聖歌隊の練習が始まります。参加各団体からはもちろん外部からも一緒に歌う方々を募って、聖歌隊が結成されます。

練習の日程は下記の通りです。中和田教会からも老若、男女を問わずたくさんの方がご参加下さるようお願いさせていただきます。

◆練習日程：	9月11日、25日	14:00～16:00
	10月9日、23日	〃
	11月6日、20日	14:30～16:00
	12月4日	〃

◆練習会場： 中和田教会聖堂

◆お申し込み・お問い合わせ
宣教G・石井まで(802-5160)



(2) チラシとポスターのデザインを募集します

クリスマスにふさわしい楽しいデザインをお寄せください。子供さんの絵、大人の方の絵など

ご自由に描いてください。締め切りは10月20日です。石井までご提出ください。

総務からのお知らせ

7月25日付で、

ミカエル・ジャン・マリ 高木潤 さん

が片瀬教会に転出されましたので、お知らせします

委員会だより

(文中敬省略)

△7月9日(日) 9名出席▽

小林神父の話

《祈り》東日本大震災で被災された方々が生きる希望を取り戻すことが出来そうです。また中和田教会の交わりが深まることを祈りましょう。



《以下別資料に沿って説明・議論》

- ① 堅信式：12月4日に決定(本誌3頁参照)
- ② 小5、6が受堅する可能性検討(6月委員会での提案)の件は、6月26日の「親の会」で話し合い、結果として『本人と保護者が相談して、希望すれば受堅できる』ことを確認した
- ③ 日程変更に伴い、小林神父提案(6月委員会)の内容は変更する(詳細略)
- ④ 高校生、成人の堅信(本誌3頁参照)
- ⑤ 横浜教区召命練成会(8月1〜4日)の開催場所変更↓復生あせび会「御殿場荘」天主堂献堂一五〇周年祝など(詳細略)
- ⑥ 梅村司教からのお知らせ(於6月度月修)
- ⑦ 未受堅の高校生や成人の信徒へ案内
- ⑧ 堅信が遠いものならないように呼び掛けたい。周囲の信徒のご協力をお願いする
- ⑨ 聖母マリアへの祈りは、正式に「アヴェ・マリアの祈り」として確定した。⑨要理学校では、7月24日に「拡大要理学校」として、夏季学校を行う。
- ⑩ 祭壇等改修工事が完了したので、横浜教区に報告書を提出した(6月28日)
- ⑪ 教区典礼委員会主催の聖体奉仕者研修会に、中和田から派遣された中島・石井(悠)、小野の3名が研修を終了した。

各Gからの報告・提案

●典礼(下村)

- ・8月は子どもミサなし
- ・7月31日に典礼ミーティングを開催するので出席願いたい
- 宣教(井上、石井(悠))
- ・第5地区サマーキャンプに向けて、7

月10日にリーダー会で下見に行く予定
・第5地区の中高生会も一緒にやりたいとの要望もあり、検討していく。

- ・サマーキャンプの案内状も出来ており、7月中に細目を確定する。
- ・中高生会は、7月30日に一泊合宿を行う
- ・堅信式の日程が正式に決まったので、7月11日の週に再度堅信の案内状を配布する(中高小五、六)

●泉区民クリスマス(石井(悠))

・7月1日に本年最初の実行委員会を行い、今年の区民クリスマスは、12月23日に泉公会堂開催することで確定した。

《岩淵委員長》

- ・区民クリスマスは良い動きなので、課題や要望があれば、遠慮なく言って欲しい
- ・中和田で練習する際の使用料は、ルール通りでお願いすることになっているが、柔軟に対応するので無理がないように。
- 要理(保科さん(欠席))からの要望事項は上記で議論済み

●建物を考える会(下村)

・聖堂の改修は皆さんの理解と協力で無事完了することが出来た

- ・建物関連重要アイテムで弱者対応が残っており、今後取り組んでいく。若い世代に参加を求めたい
- ↓宣教グループに呼び掛けて頂ければ、連携が出来るのではないかと《岩淵委員長》

●福祉(中島)

・藤沢教会で、証し(福祉)部門の集まりがあった。そこで震災復興支援のTシャツが紹介されたが、ガーデンパーティーで、みんなで着てやったらどうか

- ↓義援金募金箱も置くので、盛上がつてよいと思う《岩淵委員長》
- ・パッチワークの対応を、協力を募って進めている

・お米の供出活動は、信徒の皆さんの協力で継続的に進行中(いつもパーク神父様からお礼の言葉が届いている)

●行事(武田(幸))

・バザーの準備が少しずつ進んでいる。

7月10日に、B+C地区で相談する
・敬老の祝賀会はD地区担当で準備を準備を進めるが、敬老ミサの日取りは？

↓あとの「討議事項」で議論

●総務(小山(恭))

・信徒籍台帳整備の為、他小教区に確認依頼状を82通出した

・サロンの件↓あとの「討議事項」で議論

●広報(小野)：特記報告事項無し

●信徒の会(小野)

例会の内容報告(詳細は広報7月号参照)

●報告・討議事項(議論済みの項は略)

●8、9月のスケジュール確認(詳細略)

●ガーデンパーティー

・信徒の会で指針を打ち合わせた(小野)

・大川さんと連絡・調整済み(岩淵委員長)

●敬老祝福ミサと祝賀会の日程

・町内会等での祝賀催しとの重なりを考慮して、日取りは9月18日に決定する

・信徒の会 例会日は、9月25日に変更

《塗油》に関する小林神父コメント

・塗油の秘跡を重々しく感じる人が多いようであり、また塗油を受ける方が会衆席から動けないのでどうしたらよいか悩んでいる。また、塗油を敬老ミサで行なってきたが、このままではよいのか？(小林神父)

↓本件は、小林神父と典礼Gとで相談

●サロンの取り扱いについて

・サロンの奉仕者が少なくなってきた

・おり、サロン自体が立ち行かなくなっている状況下にある。

《いろいろな意見や議論》

○もっと簡略化して負荷を減らしたらどうか？ 例えば、インスタントコーヒーを使用して、原則セルフサービスにする、など

○簡略化してでも、継続すべきと思う

○お茶菓子の個人負担は改めるべき

○信徒の会で当番制にしたらどうか？

(年に1回まわって来る程度で済む)

○中高生会が年に2回程度やることも選択肢に入れてよいのではないかと？

↓結論として、本件は「信徒の会」の例会で相談してみることとなった(担当小野)

●改修を完了した祭壇関係の祝福(祝別)

日取りが決まれば行なう(小林神父)

●改定された祈禱書の購入アレンジ(総務)

●第5地区セミナー(「祈る力部門」)

・今年も3つのセミナー(①病者・高齢者訪問 ②一般信徒による葬儀実施

③集会祭儀)が開催されるが、中和田でも開催場所等、協力出来るか？

・特に、集会祭儀セミナーについては、もともと中和田信徒の意識や理解を高めてからやった方がよい(下村)

・良い刺激になるので、あまり準備や体裁など意識せずに、積極的に協力した方がよい(小野)

↓本件別途調整(岩淵委員長)

●アヴェマリアの祈りに関連して

・慣れるまで、主日ミサの前に、ロザリオを一連でも唱えたらどうか(石井(悠))

↓良い提案なので、是非典礼Gと検討して欲しい(岩淵委員長)

●課題リストのレビュー

・委員の固定化(いつまで経っても同じような顔ぶれ、最大の問題)

○他教会の運営で、ヒントがあるのではないか？(小野)

○他教会は、継続性が必要な事項を除き、関連にかわっている。委員の担当内容を、交代することも一つの手段と考えられる。(岩淵委員長)

●教会ホームページについて

今迄維持費用が広報委員の個人負担で賄われているが、これを本来の教会負担に改めたい(岩淵委員長)

(次回委員会は9月11日(日))

以上